



# 白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第8号

令和2年12月23日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<http://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>

やさしく ゆたかに たくましく ～ 三つの大切 ～

校長 泉 豊

2学期には、6年生が中心になって工夫した取組が幾つか実施されてきました。ウイルス感染の防止を図りながら楽しむ遊び・遊び場の工夫、けがのない廊下の歩行への取組など、主体的な全校への働き掛けをととてもうれしく、頼もしく思いました。各学年では日常の学習活動に加え、学校の外に出かけて活動をしたり、学校に「その道の達人」にお出でいただいたりするなどして学習を進め、活動の充実が図られてきました。課外活動についても、短期間にはなりましたが活動を進めがんばる姿を見ることができました。ウイルス感染防止のため、不自由なことはありましたが、地域・保護者の皆様の子どもへの深い愛情による見守りや励まし、教育活動へのご支援・ご理解などにあらためて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、終業式では、81日間の2学期を振り返り3学期の目標に向かう「三つの大切」について話をしました。一つ目の大切は「命」です。事件や事故に巻き込まれないこと、交通ルールや糸小の約束などを守ること、ウイルスに感染の予防に意識を高くして行動することなどがあります。降雪に伴う危険の認知や回避についても命を守る力として培っていく必要があります。二つ目の大切は「友達・家族」です。長期休業中は、自分の担当を決めて取組を継続したり、手伝いをしたりすることにより、達成感や自己有用感を高めるチャンスです。また、自分を大切にするとともに、相手を思いやり、助け合いの心をもって行動したり、自分の言動を振り返ったりする期間としても有効です。三つ目は「勉強」です。自分で計画を立て時間の使い方を工夫し、苦手なところに力を注いだり、得意な内容に磨きを掛けたりするなど、自分のペースで自分の課題に向かっていきやすい期間になるとよいです。

今年はいつともとは違うお正月になるようですが、子どもが冬休みをステップアップのチャンスにするよう学校では指導をしました。子どもの成長に応じて、皆様から共に取り組んでいただいたり、励ましの言葉をかけていただいたりすることで子どもの力が培われることと思います。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。



ひすいの里総合学校の子どもと一緒に作った  
クリスマスツリーとリース

# 「しない」「させない」「見逃さない」

いじめ見逃しゼロ  
スクール集会



11月に市民会館で行われた「いじめ見逃しゼロスクール集会」に参加した6年生は、みんなが安心して過ごせる糸魚川小学校、そして、みんなが自慢できる糸魚川小学校をつくりたいという思いを高めました。そして、全学年に「いじめをなくすために心がけたいことは何かを話し合っしてほしい」と呼びかけ、校内版「いじめ見逃しゼロスクール集会」を企画しました。

集会では、学年で話し合っ決めて決意を、それぞれ発表しました。代表の子どもが話す言葉に耳をすませ、全校が、いじめを「しない」「させない」「見逃さない」ことを強く確認する機会になりました。

## 校内ミニコンサート・パレード

合唱部・金管部



11月20日(金)に合唱部、12月3日(木)に金管部が、校内ミニコンサートを行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、両部とも活動が制限され、発表の場もありませんでした。このような状況を考え、年度の締めくくりの意味も込めて、練習の成果を発表する場を設定することにしました。6年生にとっては、小学校最後の発表の場です。

合唱部は「変わらないもの」と「宿命」の2曲を合唱しました。練習を積み重ねて創り上げたハーモニーがホールいっぱいに響きました。金管部は、校舎2階をドラムメジャーの先導でパレードした後、「きらきら星」「池の雨」「THE HEY SONG」を演奏しました。子どもは、全校の友達と保護者に合唱・演奏を披露することができ、充実感や達成感でいっぱいの表情をしていました。また、活動を終えた6年生からは、4・5年生に対してメッセージが送られました。その想いを受け止めながら、次年度の活動もつくりだされていくことでしょう。

# 今までありがとう 元気でね！

1年生 生活科  
うさぎさん卒業式

12月4日（火）に、1年生が飼育してきた2羽のうさぎの卒業式が行われました。

9月に糸魚川小学校にやってきて以来、子どもは、休日も含め、毎日餌やりやトイレ掃除、様子の観察などを続けてきました。天気の良い日は、中庭に出て一緒に遊びました。毎日かかわっているうちに、うさぎのモフ、チョコは、同じ1年生の仲間になっていました。



卒業式を迎えるにあたって、子どもたちは「うさぎさんもみんなも喜ぶ、思い出に残る卒業式にしたい」という願いのもと、みんなで力を合わせて準備を行いました。当日は、思いを込めた歌を披露したり、プレゼントを渡したりと、2羽のうさぎへの愛情と感謝の気持ちを表現していました。うさぎについての知識はもちろん、動物の命のあたたかさ、大切な仲間と別れることの悲しさなど、たくさんのことを学ぶ活動になりました。

## わかりやすい特別支援教育のお話

今号では、平成19年からスタートしている「特別支援教育」について紹介します。

特別支援教育とは、障害やその診断の有無にかかわらず、子ども一人一人の苦手なところ（学習や行動）に応じて適切な指導や必要な支援を行う教育のことです。そしてこの指導・支援は全校のすべての子どもが対象であり、すべての教師で行います。



お子さんに困ったことや苦手なことがあった時、その子の得意なことを活かし、その子自身が自分を理解しながら乗り越えていくことを支援していきます。その際は、保護者と学校職員がその想いを共有し、連携して取り組んでいくことを大切にしています。

お子さんのことでお悩みのことなどがありましたら、学校職員に遠慮なくご相談ください。

## 雪道に気を付けて！ 冬休みも安全に

先週から本格的な降雪が見られ、いよいよ冬本番といった感じとなりました。休み時間の中庭やグラウンドには、雪遊びに興じるたくさんの子どもの姿が見られます。「子どもは風の子」と言われますが、寒さに負けず元気に走り回る姿に微笑ましい気持ちになります。

一方で、下校時の雪道の歩き方について、地域の方から「雪山の上を歩いていて車道に滑り出てくる子どもがいて危険である」と情報をいただいています。場所と状況をよく判断して雪遊びするよう指導しました。ご家庭でもぜひ話題に取り上げててください。1月7日、全員が元気に登校できることを願っています。